

滋賀県汚水処理事業広域化・共同化計画 (案)

広域化に関わる 市町村、流域等	広域的な連携メニュー	連携に関わる 施設名等	メニューに対するスケジュール (年度)				備考	
			2018 (H30)	2026 (R8) 短期 (~3年)	2028 (R10) 中期 (~5年)	2030 (R12) 長期的な方針 (~10年)		2035(R17)
滋賀県、8市町	農業集落排水施設の統合	農業集落排水処理施設	・段階的に下水道へ接続 ※2045年度(令和27年度)までに統合完了				汚水処理構 想の見直し 内容を反映	
滋賀県、1市	単独公共下水道施設の統合	単独公共下水道施設	・流域下水道への統合の可否を検討					
滋賀県、3市	し尿および浄化槽汚泥の投入	し尿処理施設	・流域下水道への投入に向け、個別協議を開始					
滋賀県、県内19市町	雨天時浸入水対策	下水道施設	・手引き等事務的資料の作成・活用		・共同化に向けた検討		WGの議論を 反映	
	災害時対応		・保有資機材情報の一元管理 ・県内統一の災害対応訓練		・役割分担、費用分担、人材支援等に向けた検討 ・災害時支援協定の締結にむけた検討			
			・上下水道が連携した災害対応訓練の実施					
	維持管理業務の共同化 (管路、マンホールポンプ)		・上下水道BCP(共通)の検討・策定					
			・上下水道が連携した共同調達の実施(調達物の選定、調達体制の構築等)					
	維持管理業務の共同化 (W-PPP)		・上下水道が連携した給排水設備申請書類の統一化					
			・管路の点検・調査の共同化		・管路の診断・解析の共同化			
	下水道台帳の共有化		下水道台帳システム	・接続点の水質調査の共同化		・MHP保守点検の共同化 ・下水道台帳の共有化		
	人材育成・確保		-	・先行自治体へのヒアリング ・各自治体における導入調査 ・先行処理区での導入実施		・導入・検討状況の共有と検証 ・広域型W-PPPの検討		
				・下水道台帳システムの入力項目の統一 ・共有システム構築のための情報蓄積		・データ入力、更新の体制づくりの検討 ・共有システムの構築に向けた検討		・共有システム(クラウド化)の構築
財源確保(予算、料金・使用料)	-	・大学等との連携(県・市町上下水道部局合同での出前講座等) ・転職サイトやイベントへの参加 ・採用情報等の共同発信(合同説明会、ポスター等)						
		・下水道技術講習会等の実施 ・下水道事業者間の受入研修の実施						
		・自治体間の人材交流						
		・交付金・補助金制度の勉強会、活用事例の情報共有 ・国等への要望活動						
		・料金等水準の現状把握 ・料金等改定の要否検討、必要に応じて改定						